

総合科学実践プロジェクト

2単位 (選択) 3年 (前期)

総合科学実践プロジェクト

宮崎 隆義・教授/人間文化学科, 依岡 隆児・教授/人間文化学科, 山城 考・准教授/社会創生学科, 山本 裕史・准教授/社会創生学科

【授業目的】 専門を異にする教員が、共通もしくは複数のテーマで受講生とともに授業を運営し、実践的で総合的な学習姿勢を体得する。授業を通して、文系、理系相互の視点からものを考え、企画・調査し、討論・発表によって総合科学の実践力を養う。

【授業概要】 総合科学に関わる諸問題を、文系、理系の視点から考え実践的に説明をおこなってゆくワークショップ方式の授業である。欧米の文学や比較文化、植物や環境を専門とする4名の教員が、受講者とともに授業の内容を企画し、共通もしくは複数のテーマを設定して、文献調査やフィールドワーク(例:吉野川干潟観察プログラム・流域水環境分析プログラム・環境保全運動考察プロジェクトなど複数のテーマで開設)を通して文系・理系相互のもしくは融合した視点から、考察を深め、最終的にはその成果を発表する。

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】

1. 文系、理系双方の考え方を理解し融合させる。
2. テーマの設定、フィールドワークの実施や文献の調査等を通して実践的な企画力を養う。
3. 文献の購読や討論を通して論理的な思考や理解を高め、成果発表の能力を高める。

【授業計画】

1. 以下の計画はおおよその目安であり、受講者の志向や関心、文献調査やフィールドワークなどの動向を見ながら16回の授業を運営してゆく。
2. オリエンテーション
3. テーマの設定について討議(2回程度)
4. 授業の運営について討議・企画(2回程度)
5. 調査およびフィールドワーク(3回程度)
6. 中間発表(2回程度)
7. 討論とさらなる調査(3回程度)
8. まとめと発表(2回程度)
9. 総括

【成績評価】 授業への参加状況、議論の内容、発表や報告などを総合的に評価する。

【再試験】 なし

【教科書】 なし

【参考書】 授業の中で適宜紹介する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220352>

【連絡先】

- ⇒ 宮崎 (総合科学部 1号館 3階北棟 3309, 656-7131, miyazaki@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火・木曜日 12時～13時)
- ⇒ 依岡 (1308, 088-656-7143, yorioka@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日 12時から13時)
- ⇒ 山城 (088-656-7257, tyamash@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
- ⇒ 山本 (総合科学部 3号館 2N07, 7618, hiroshi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

総合科学実践プロジェクト

2 units (selection) 3rd-year(1st semester)

Takayoshi Miyazaki · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES, Ryuji Yorioka · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES, Tadashi Yamashiro · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Hiroshi Yamamoto · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 専門を異にする教員が、共通もしくは複数のテーマで受講生とともに授業を運営し、実践的で総合的な学習姿勢を体得する。授業を通して、文系、理系相互の視点からものを考え、企画・調査し、討論・発表によって総合科学の実践力を養う。

Outline) 総合科学に関わる諸問題を、文系、理系の視点から考え実践的に解明をおこなってゆくワークショップ方式の授業である。欧米の文学や比較文化、植物や環境を専門とする4名の教員が、受講者とともに授業の内容を企画し、共通もしくは複数のテーマを設定して、文献調査やフィールドワーク(例:吉野川干潟観察プログラム・流域水環境分析プログラム・環境保全運動考察プロジェクトなど複数のテーマで開設)を通して文系・理系相互のもしくは融合した視点から、考察を深め、最終的にはその成果を発表する。

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal)

1. 文系、理系双方の考え方を理解し融合させる。
2. テーマの設定、フィールドワークの実施や文献の調査等を通して実践的な企画力を養う。
3. 文献の購読や討論を通して論理的な思考や理解を高め、成果発表の能力を高める。

Schedule)

1. 以下の計画はおおよその目安であり、受講者の志向や関心、文献調査やフィールドワークなどの動向を見ながら16回の授業を運営してゆく。
2. オリエンテーション
3. テーマの設定について討議(2回程度)
4. 授業の運営について討議・企画(2回程度)
5. 調査およびフィールドワーク(3回程度)
6. 中間発表(2回程度)
7. 討論とさらなる調査(3回程度)
8. まとめと発表(2回程度)
9. 総括

Evaluation Criteria) 授業への参加状況、議論の内容、発表や報告などを総合的に評価する。

Re-evaluation) なし

Textbook) なし

Reference) 授業の中で適宜紹介する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220352>

Contact)

⇒ Miyazaki (3309, 656-7131, miyazaki@ias.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](mailto:miyazaki@ias.tokushima-u.ac.jp) (Office Hour: 火・木曜日 12時～13時)

⇒ Yorioka (1308, +81-88-656-7143, yorioka@ias.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](mailto:yorioka@ias.tokushima-u.ac.jp) (Office Hour: 火曜日 12時から13時)

⇒ Yamashiro (+81-88-656-7257, tyamash@ias.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](mailto:tyamash@ias.tokushima-u.ac.jp)

⇒ Yamamoto (総合科学部3号館 2N07, 7618, hiroshi@ias.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](mailto:hiroshi@ias.tokushima-u.ac.jp)